

文教厚生常任委員会記録

令和 6 年 2 月 26 日（月）

場所：鳥栖市議会 第 3 委員会室

令和 6 年 2 月 26 日 日程

日 次	月 日	摘 要
第 1 日	2 月 26 日（月）	案 件 所管事務調査 (1) 田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校の 校舎修繕等の対応状況と今後の対応予定 (2) 田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校以外の 市立小中学校校舎修繕等の対応状況 〔説明、質疑〕

1 出席委員氏名

委員長 樋口伸一郎

副委員長 成富牧男

委員 中川原豊志

委員 西依義規

委員 田村弘子

委員 緒方俊之

委員 牧瀬昭子

2 欠席委員氏名

なし

3 説明のため出席した者の職氏名

教育総務課長 佐藤正己

教育総務課総務係長 城島直也

4 出席した議会事務局職員の職氏名

議事調査係主査 松雪望

5 日程

(1) 田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校の校舎修繕等の対応状況と

今後の対応予定

(2) 田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校以外の市立小中学校校舎修繕等

の対応状況

〔説明、質疑〕

6 傍聴者

なし

7 その他

なし

午前 9 時 59 分開会

樋口伸一郎委員長

これより、文教厚生常任委員会を開会いたします。

~~~~~

桶口伸一郎委員長

本日の日程は、所管事務調査といたしまして、田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校の校舎修繕等の対応状況と今後の対応予定についてを1つ目の議題ということで、次に、田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校以外の市立小中学校校舎修繕等の対応状況あるいは今後についても含めていただくことができれば、そちらを議題とさせていただきたいと思います。

~~~~~

所管事務調査

田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校の校舎修繕等の対応状況と
今後の対応予定

樋口伸一郎委員長

それでは早速でございますが、所管事務調査を行います。

教育部より御説明をお願いしたいと思いますが、順番は一括して行ったほうがよろしいですか、区切ったほうがよろしいでしょうか。

「区切ってお願いします」と呼ぶ者あり

承知しました。

それでは1つ目の、田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校の校舎修繕等の対応状況と今後についての御説明をお願い申し上げます。

佐藤正己教育総務課長

おはようございます。

それでは、お手元にお配りしております資料に沿って御説明申し上げます。

まず、田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校の校舎修繕の対応状況と今後の対応予定につ

きましてです。

最初に、田代小学校屋内運動場の雨の降り込みの部分ですけれども、雨が降り込んでおりますのは、田代小学校の屋内運動場天井ガラリからによるものですが、天井ガラリは視察のときにお話をいたしましたように、換気による排熱を目的として設置しておりますことから、ガラリ自体を覆うことは基本的にはできないと考えております。

視察の後、建設課と担当係長の城島がいろいろ話をしましたが、やはり体育館の上のほうにあることから、大がかりな足場を組む必要があること、足場を組むということは多額の費用が見込まれること。また、工事期間中の学校運営や社会体育のほうにも影響があるということから、建設課等と連携をして対応策について検討してまいりたいと思っております。

どういことができるかということにつきましては、建設課に担当係長とかがいますので、例えば私のほうが視察の場でお話をしたように、ガラリの場所を変えることは可能かどうかとか、ガラリ自体が——新しい何かが出来ると対応可能な施設や部材があるのかどうかとか、そういった部分を総合的に判断して、費用面とかを考えながら、実行できるのではないかという部分が出てきた場合には、協議を行った上で、今年度とは言えませんが、補正予算等の対応については検討していきたいと考えているところでございます。

続きまして、田代中学校についてですが、木質のドア、窓を全面的に改修するには、レール部分だけの改修ではできずに、ドアとか窓が入っている廊下側の壁——壁全体が天井と床にきちんとついている状態っていうことですので、それを全部新しくしようと思うと、廊下側の壁を全部取っ払うような形になってしまっていて、新たに新しい壁とかを入れて、窓とか扉とか廊下側の窓を入れるっていう形になります。

そうしますと、例えば夏休み期間中だけでできるというような工事の規模ではないということだということでした。

これも建設課と簡単にどういことができるかっていう話をしたら、さっき説明しましたようにありました。

そうしますと、やはり工事期間が長くなるということから、仮設校舎を建てるとかそういった必要がありますが、そうしますと費用がかかってくるという形になります。

それと、田代中学校のような木製のドアにつきましては、直近で大規模改造を行っております鳥栖西中学校、田代中学校、弥生が丘小学校以外の9校は田代中学校と同じようなドアになっております。

そうすると、その学校も随時行っていくような形になって行くというふう考えられます。

ですので、例えば今設計をしております旭小学校であるとか、来年度設計をする基里中学

校につきましては、大規模改造工事が直近に迫っていますので対応できますけれども、後の学校の部分まで考えていくと相当な費用が見込まれますことから、これについては、建設課と協議をし、対応していきたいと考えております。

例えば、ドアの棧の部分とか一部分だけの改修が可能ということであれば、修繕等で一部でも対応していきたいとは考えているところでございます。

続きまして、鳥栖中学校につきましては、雨漏りの原因が外壁のひび割れや、窓、サッシからの雨水がしみているということから、内部からの補修は効果がなく、外壁側から足場を組む補修が必要となります。

そうしますと、やはり防水工事をし直さないといけないということですから、天井部分だとか外壁のはつり等をしなければならないということで、通常の学期中の授業があつてところでの工事は基本的には厳しい状況にあります。

また、箇所数も多いことから、鳥栖中学校についても大規模改造工事に行えればと思っております。

鳥栖中学校につきましては、先ほど申しました旭小学校、基里中学校が終わりましたら、今、来年までの計画がありますので、その次の計画としては、鳥栖小学校、鳥栖中学校、鳥栖北小学校のこの3校が次の大規模改修の順番になってきますので、その中で対応ができればということです。

当面の間は雨漏りがひどい場所の修繕とか、外壁の改修工事等で生徒の学習環境の向上に努めてまいりたいと考えているところでございます。以上でございます。

樋口伸一郎委員長

ありがとうございました。

丁寧に御説明いただいたので、この件に関しまして、御質問がある方は挙手にてお願いいたします。

中川原豊志委員

今、課長のほうから説明がありましたけれども、田代中学校の建具の不具合ですが、全体をやると大きい金額とか期間とかが必要かと思いますが、特別教室棟とかそういったところはそんなに劣化はひどくなくて、普通教室棟がひどいのかなという感じがしたんで、例えば、普通教室棟の木製の建具の上のほうがかなりすれて、棧との隙間がなくなつてるとか、下のほうで溝が減って落ちてるとか、そういったところの一部でもまず改修するのはどうなのかなとは思いますが。

授業をやっているところで、風が吹いたらすぐガタガタいって気になるのであれば、まずはその対策だけでも先に検討できないかなと、ほかに方法はないかなと思うんですが。

佐藤正己教育総務課長

先ほど言いました建具関係につきましては、あの後実際に建設課の職員にも現場を確認してもらっております。

その中で幾つか、こういった対応ができるのではないかっていうふうな部分を――例えば、今木製レールになっているのを、下の部分に金属レールを入れるとか。そういった金属レールですと、窓の高さを変えないといけなくなるので、建具自体を新調するような形になると思いますけれども、そういった対応はできる可能性があるということです。そういった部分については、先ほど言いましたように音が激しいところとか、現地視察でも応急対応してもらっている教室の窓等を見てもらったかと思いますが、可能な分から来年度予算等の修繕とかの中で検討できればと思っております。以上でございます。

中川原豊志委員

鳥栖中学校ですが、あれだけ老朽化というかひび割れしてると、特殊な構造なんで、ああいうふうに水がしみてくるのがあるかなと思うんで、これはもう大規模改造しかないのかなと思いますので、大規模改造の時期を少し早めていただく方向性で考えていただきたいんですが。

生徒が荷物を置いているところがぬれるということなんで、そこについては、何か特別な方法がないのかなというふうに思います。

佐藤正己教育総務課長

田村議員から12月議会で質問があった部分になるんですが、その後、廊下の棚の前に金属製の棚みたいな、スクールロッカーみたいなものを置くことで対応できないでしょうかというふうなお話を学校長としたんですが、学校側としては、廊下が狭くなるのが考えるところがあるというふうに言われました。

このままの状態では、教科書がぬれて乾いたら波打ってガバガバになるっていうのはいいことではないとは思っておりますので、そこについてはまた学校長と話をして、廊下が狭くなるっていう問題もあるかもしれませんが、生徒の学習環境や本とかを維持するという意味では、こういう対応しかできないのではないかと私は考えておりますので、そこは協議をしてみたいと考えております。以上でございます。

中川原豊志委員

金属製のそういうロッカーみたいなのは、面白い発想だと思うんで、それを今の木製の棚になってるところにはめ込むことはできないものなのかな。

佐藤正己教育総務課長

そういうカタログ等を見ていると、規格が決まっておりますので、それを中に入れよう

と思うと特注になりますので、それをつくる間にまた雨が降る可能性もあります。

ですので、製品を買って廊下側に置けるのであれば、そのほうが早く対応できるのかなとは考えております。

入れてしまうと、大規模改造をするときに外して同じ構造をつくらないとまた入れられないので。スクールロッカーを外して、置いてるだけだとまた何か再利用もできるかなと思いますので、既成品のほうがいいのではないかというふうに私は考えております。

また別の学校で同じようなときに使えるとか、何かほかのものを入れる生徒のロッカーとかにも使えるかなと思いますので、そういう形がいいかなと思っております。

中川原豊志委員

ぜひ、そういった対策を検討していただきたいとお願いしておきます。

樋口伸一郎委員長

ほかにございませんか。

〔発言する者なし〕

私からいいですか。

この前鳥栖中学校を拝見させてもらって、私は本業が大工だったんで、そっちの観点から質問したいんですけど。

そもそもクラックとかの入り方が——入隅の角って言って大体内側の角から入っていくようになって。今マンションとかでも出窓等がはやってるじゃないですか。

鳥栖中学校は全部へこみ窓になってるじゃないですか。

要はそこから全部水が入ってきてるわけでしょう。

クラック等の入り方を見てたら、場所によっては外部から内部まで貫通してるようなクラックなんですよ。

大規模改造を計画的にさせていただくっていうのはありがたいことなんですけど、そもそも大規模改修の基準で鳥栖中学校は収まるのかなっていう心配があったんです。

さっき説明でもありましたとおり、外壁からはつりあるいは防水補修ってなると普通の防水補修ではないじゃないですか。

はつりで躯体ごと削って行って、むき出しにしてまたモルタル塗ってっていう話なんですよ。

人間でいったら骨ごと削ってるっていう状態なので、相当の金と期間と仮校舎を造ってという話になるんで、必要なお金はかけるべきだって個人的には思うんですが、大規模改修の基準で収まるのかなという心配がそもそもあって。

例えば、ぎりぎり収まるからっていうことで、はつって補修して塗ったら田代中学校みた

いに分からなくなるわけですよ。塗ってますから、ガタガタなっても分かんないですよ。

露骨に見える状態だったから気づいたんですけど、建て替えないと大規模改修でとどまるのかなという心配があったんですけど、その辺ってどうですか。

佐藤正己教育総務課長

現在、文部科学省から頂いております補助金の長寿命化対策っていうメニューに、今まで老朽化対策っていうメニューがあったんですが、その老朽化対策というメニューが令和4年度まででなくなりまして、今も長寿命化対策ということでの大規模改造工事に対して補助が出るような形になっております。

その長寿命化工事をするためには、事前診断をしなければいけないという形になっております。

1年間かけて学校の躯体の状況であるとか構造とかを全部調べて、適切な長寿命化対策を下さい、その上でその工事に基づいた設計に対しては補助を出しますよということになっております。

そういった診断をまず行った上で可能かどうか、さっき言ったように長寿命化ができるのか、この現状ではできませんとなると、現地で建て替えになるとか、場所を探すのかとかっていう判断になってくるかと思います。

先ほど言いましたように、鳥栖小学校も正直に言いますと、外壁のクラックが起きて、外壁の落下の恐れもありますので、そういう部分で診断をしなければいけないところまで来ています。

長寿命化っていう形でいきますと、全て診断をしなければなりませんので、そこら辺の考え方の整理をしなければいけないということで、今、城島係長のほうにそういった資料作成をお願いしておりますので、来年度にはある程度方針が決まった段階で、鳥栖小学校と鳥栖中学校の順番を先に決めなければいけないので、そういった意味では診断を必ずしなければいけないと考えております。

そうしますと、さっき言いましたような予算化をするために、方針を決めるのが来年度だと思っておりますので、そういった考え方で今、事業を進めていきたいと考えております。以上です。

樋口伸一郎委員長

御説明、お答えで分かりました。

幸いかどうか分からないですけども、来年度に基準を満たすかどうかの確認をしていくっていう感じで、例えば長寿命化の補助をもらうためにちょっと無理して、ぎりぎりだけれど収めておこうという形でねじ込んだような状態だと、そういう形でいってもまた5年後、

10年後に——人間でも肉だけじゃ生きていけない、骨を削ったらやっばりぼろがどんどん出てくるんで。

仮に、基準を満たせなかったときに、代わる補助メニューみたいのがあるんですか。

新築しないと雨風じゃなくて地震とかもあるじゃないですか。

鳥栖中学校は揺れによっては落下とか崩壊の恐れがある場所があったわけですよ。

新築のときにも代わるメニューがないってなったら全部独自費用なんで、その辺りどうですか。

佐藤正己教育総務課長

建て替えとかのメニューがあるのが、小学校とか、学校の統合であるとか、義務教育学校を造るとかっていう部分では新築分もあるんです。

私自身が、今委員長から御質問があった部分は想定してませんでしたので、ある程度自分の中で、こういうのができるかなっていう部分では読み込みはしてたんですけど、そこまではちょっと想定しておりませんので、内容を検討させていただきたいと思います。

樋口伸一郎委員長

ぜひ視野に入れて、横断的に協議するなりしてほしいと思います。ありがとうございます。

ほかにありませんか。

西依義規委員

今、鳥栖中学校が話題になってますが、今見たら平成10年頃に大規模改造工事をされてるんですよ。

結局、大規模改造してあのひどさなんで、果たしてそのときの工事が適切だったのかどうかをちょっと疑いたいんですけど、事業費が幾らぐらいで、どこまで工事したっていうのを大体把握されてますか。

それとも一般的な改造メニューにちゃんとのっとってされたっていうのが何かありますか。

中川原豊志委員

大規模改造工事と大規模改修工事、昔は改修やったかもしれんけど、そこの違いを一緒に教えていただければ。

樋口伸一郎委員長

そうしたら、お答えいただくときに、西依委員から言われた平成10年度は大規模改造ですので、その性質の違いもお答えいただいた上で、西依委員の御質問にお答えください。

城島直也教育総務課総務係長

お答えいたします。

まず、大規模改造と大規模改修工事につきましては、事業名としては国の補助としては大

規模改造というような形でされておりますが、こちらの予算を出すときに大規模改修というような形で御説明をしてきたというだけであって、内容としては同じものになりまして、大規模改修ということでしております。

先ほど西依議員からご質問いただいた鳥栖中学校の平成10年当時の資料につきましては、現在持ち合わせておりませんので、金額についてすぐにお答えはできないんですが、事業内容に関しては、大規模改造（老朽）ということで今までできてはいたんですけども、老朽に関してもメニューとしては基本的に国の要件等で決まっておりますので、鳥栖中学校がほかの学校と比べて、簡易的な工事で済ませたとか、そういったことはないということで理解をしております。

大規模改造（老朽）に関しては、鳥栖西中学校や田代小学校、田代中学校、今行っている田代小学校も大規模改造（老朽）は起債でさせていただいてるんで、使ってはいないですけども、内容としては老朽のメニューを国のメニューに準じた形で行っております。

ですので、外壁のクラックの確認だとか、打診して確認してはつつた上で、モルタルを塗るというような作業はさせていただいているものと思っております。

西依義規委員

二十数年であそこまでひどいかってびっくりしたんですよ。すごくひどかったじゃないですか。

その時の工事がちゃんとしていたかどうかは分かりませんが、ちょっと疑いたいなというのと、先ほど委員長がおっしゃった新築も含めて——市役所も耐震が駄目だったから建て替えたんでしょうけど、鉄筋、鉄骨が何年もつという一般的なものはあるんでしょうけど、そこには雨風とか雨漏りとかでそれぐらいはもたないこともあるじゃないですか。

12校全体の年数だけざっと教えてほしいんですが、どこが古くて何年たったか、建った年数から教えてもらっていいですか。

樋口伸一郎委員長

築年数？

西依義規委員

築年数というか、鳥栖中学校は昭和何年に建ちました、田代小学校は何年に建ちましたみたいな。

佐藤正己教育総務課長

まず、鳥栖小学校からいきますと、教室は昭和52年、53年、54年が最初の建築です。

鳥栖北小学校は平成5年でございます。

田代小学校は、昭和46年から47年にかけて建てて、現在大規模改造が終わっております。

基里小学校は、昭和51年、52年。

麓小学校は昭和56年から昭和57年にかけて新築になっております。

旭小学校は、移転したのが昭和59年でございます。

若葉小学校が、昭和53年に校舎が出来て、特別教室棟は57年に出来ております。

弥生が丘小学校は、平成20年、普通教室の2つ目が平成25年でございます。

鳥栖中学校は、普通教室棟が昭和48年から49年にかけて、管理棟特別教室が昭和51年から昭和52年にかけて。

田代中学校が昭和58年から59年にかけて。

基里中学校が移転したのが平成2年でございます。

それから、鳥栖西中学校が昭和44年、新しい追加分が昭和60年ですので、鳥栖西中学校は既に大規模改造が2回終わった形になっています。以上でございます。

西依義規委員

ということは、一番古いのは鳥栖西中学校で昭和44年。（「躯体としては」と呼ぶ者あり）

例えば、同じぐらいに建った田代小学校にはそういった雨漏りって大規模改修の前にはあったんですか。

城島直也教育総務課総務係長

お答えいたします。

田代小学校につきましても、件数とかまでは聞いていないんですが、大規模改造前についても雨漏りはあったということでは聞いております。

ただ、程度の関係からいうと、鳥栖中学校の外壁のクラックというところまでは事態は至ってなかったというふうに理解はしております。

西依義規委員

極めるには中川原委員のおっしゃった大規模改修を早めるしかないんですけど、多くの議員さんが今まで言ってこられたじゃないですか。

例えば、3年で1校ずつすると12校で36年かかるでしょう、36年かかったらもう次のところは間に合わないでしょう、っていうのを早められたり重ねられたりされてますよね。

それをもうちょっと早くしたりできないですか。何が原因で——例えば、市の財政的にどっとお金が出せんとか、部署の人数が足りないとか、同時に2校できない理由をいくつか教えてもらってもいいですか。

佐藤正己教育総務課長

教育総務課が学校施設の管理をしているわけですけども、担当している職員は係長を含めて3名です。それと教育委員会の事務とかも一緒にしてます。

それと、技術の職員がおりませんので建設課とかに依頼をするような形になります。

建設課のほうもいろんな課からの業務が全部回ってきますので、いろいろお願いしてもなかなか厳しい状況にあるのかなというふうに考えております。

西依義規委員

ということは、予算的な問題というよりも人の問題が大きいということですか。

佐藤正己教育総務課長

予算的な部分としては、いろんな要求とかをしてもやっぱり言われるところもありますし、職員的な部分で一気に2つとかすると、当然、職員が張りつきになりますので、そういった部分では体制が厳しくなるっていうのもありますし、予算もそのときに一気に建設工事費だけで10億円近くの工事が毎年動いていく形になりますので、そこはほかの業務との関係もあるかと思います。

でも、例えば来年度は、3月議会で基里中学校の大規模改造工事で4億円近くのお金をお願いしますが、補正予算で旭小学校の予算をお願いするような形になって、継続で2年とか3年かかる予算を十何億円か貸していただいて、来年度は基里中学校の設計もしますので、令和7年度はまたそこで基里中学校の大規模改造の予算もお願いすると、同じように十何億円かかります。

そうすると、そういうふうに集中するときは20億円、30億円の予算がかかっていく形になりますので、そういう形でお願いできれば大変ありがたいですけれども、財政的な部分も関係してくるかなとは考えてはおります。以上でございます。

西依義規委員

前に比べたら、多分重ねてされてるんですよ。

前はきれいに終わらないとしていなかったんで四、五年かかってたけど、今はそうやって重ねてされてんで、もうちょっとそのペースを上げていただいて、二、三校重ねていただければ、鳥栖中学校もすぐ来るかなと思いますのでお願いします。

佐藤正己教育総務課長

先ほど言いました国の大規模改造の長寿命化事業というのが、建築から40年たったら事業をしていい形になっております。

その後20年経過したら部分的な補修をしてもいいっていうのがあります。

ですから、先ほど言いましたように、鳥栖小学校、鳥栖中学校、鳥栖北小学校が終わると、大規模改造から期間が短くても、建築年次から40年以上経過している建物は、基里小学校であるとか若葉小学校もありますので、そういうものの改修を前回の改修よりも早めるっていうのは、可能なかなとは思っているところです。

そこは中期財政計画とか財政課との話も出てきますが、そういった部分も含めて、先ほど言いました改修の考え方、この年度にこういった学校をしたいという計画をうちのほうで立てて、庁内協議をさせていただきたいとは考えているところでございます。

成富牧男委員

今のと関連して。

教育委員会にはいわゆる技術職はずっと前からいらっしゃらなかったかな。

佐藤正己教育総務課長

一時期、機構改革かなんかで1名配属されていたことはありますが、今また建設課のほうに戻っているところでございます。

成富牧男委員

今ずっと話にあったように、継続的にどこかが大規模改修工事、いわゆる修繕とかいろいろ出てくると思う。

その中で技術職がいらないというのはどうかと思ったけど、所管課長としてはどう思っているんですか。

佐藤正己教育総務課長

私は令和4年度に来まして、2年目が終わろうとしておりますが、やっぱり技術職員がいないので、事務系職員が技術職みたいな形での対応や折衝をして、建設部の職員のような形になっております。

ですので、技術職員の配置をお願いしたいという要望等もしておりますが、人的な部分ともありますし、自分勝手なことを言いますけれども、それを受けて県内で技術職員が配置されてるかを調べたことがあります。施設の技術職員とかが入って学校施設の担当の係を置いている部署は佐賀市だけでした。

あとは、教育総務課の中に技術職員も1人ないし多くて2人ぐらいを配置して、何かあったときの対応ですとかそういった部分をしているというのはありました。

配置されてなかったのが鳥栖市とあと1つあったぐらいで、大体は技術職員が配置されているような状況でございます。以上でございます。

成富牧男委員

着任してすぐそういうふうに調べられたということであれば、あったほうがいいのかということでやられたと思いますので、その姿勢は引き続き持って人事とか財政とかそういうところに臨んでいただきたいなというふうに思います。

西依義規委員

教育総務課から脱線するかもしれないですけど、先ほどの委員長のお話の新築ときに、

鳥栖市は、校舎別々の小中一貫をしているわけですね。

けれど、ほかの町は義務教育学校とか小中一緒にしたりとかして、多分老朽化とかも話もあると思うんですよ。

鳥栖中学校と鳥栖小学校の同じ校区内の学校が、今大規模改修が回ってきてるんでしょう。

そういうのは学校教育課も含めて——今度基里小学校がまたやるとなると基里も一緒ですよ。

またあそこに基里小学校を建てるのか、いやいや基里中のほうが……、みたいな話を多分検討されたことがあると思うんですよ。

鳥栖市はまだ子供はそんなに減ってないけど、施設の一体化みたいな検討はされたことはあるんですか。

佐藤正己教育総務課長

正式にしたことはないのではないかと考えております。

私個人の考えを言っていていいですか。

樋口伸一郎委員長

どうぞ。大丈夫です。

佐藤正己教育総務課長

基里小学校と基里中学校は、義務教育学校でも可能かなというふうに考えております。

それと、弥生が丘小学校は児童数が大きく減って行きますので、例えば、田代小学校から弥生が丘校区の子供を弥生が丘小学校に移すこともできるかなとか、自分の頭の中ではそういうことを施設の関係とかで考えている中で、できないかなっていうのは考えたりはしているところです。

まだ正式にそういった場がないので、お話をしたことはないですけども、将来的には、施設の維持とか児童生徒数の減少とかを考えていくと西依議員が言われたように、検討していかなきゃいけない時期に早ければなって来るのかなと考えております。

西依義規委員

鳥栖市は2町3村の名残がまだあるんで、その辺の複雑なところもあろうけれども、市長がおっしゃるとおり10万人の町になれば、小学校はあと3つぐらい増える形に——それはまた別の話ですが、こうやって賛成、反対は別にして常に両方考えていったほうがいいかなと。

ぜひ、そういったところも検討しながら、施設整備をしていただけたらと思います。

樋口伸一郎委員長

ありがとうございます。

補足ですが、今課長の個人的なお考えということでお聞かせいただいたんですけども、

この所管事務調査っていうのは、セオリーどおりに今進められている計画とか、予算を立てて執行していくっていう流れも執行部としては一番大事なところなんでしょうけど、我々委員会としては今課長がおっしゃったような考え方でもいいんですよね。

課長のお考えとしては我々も受け止めますし、そういう考え方があることが分かるだけでも、じゃあ委員会でどうしようかっていう我々サイドとしてのアプローチの仕方とかがあるじゃないですか。

なので、こういう有意義な時間にするためにも、今のような課長のお考えだとか、あるいは係長のお考えでも大丈夫です。そこら辺の取扱いは委員一同重々承知した上で、配慮した上で取り扱っていきますので、どうぞ御安心の上、よろしくお願いします。

どなたか続きをどうぞ。

牧瀬昭子委員

そもそものところなんですけど、先ほど西依議員の質問で何年に建てられたという話がありました。建てられた当初、何年間使う予定になっていたのかがそもそもあるのかということと、長寿命化っていうことでされていく中で、今年長寿命化しましたってなったら何年間使う計画で改造をするのか、それはいつまでその躯体の状態のまま使い続けるのかっていう計画が何かあるんですか。

佐藤正己教育総務課長

文部科学省がしております長寿命化っていうのは、一応80年になっております。

ですから、40年で大規模改造、最初に建てて20年で予防的補修、それから大規模改造。

60年目でまた予防的改修、それから80年目で建て替えっていうのを段々技術的な部分とかも上がってきてるということだろうと思いますけれども、そういうふうに文部科学省のハンドブックとかには書いてあります。

ですので、先ほど言いましたように、例えば今やってるのが80年目には当然、建て替えにはなりますけれども、今は35年から40年ぐらいで大規模改造をやっております。

次の20年目には部分的補修工事っていうのは、必ず入れなければいけないとは考えております。

この施設改善交付金をもらう大規模改造事業をしようと思えば、そういった考え方はきちんとつくっておかないといけないかなとは考えております。

牧瀬昭子委員

80年というところでびっくりしたんですけれども、そもそも40年前に建てられたときに、80年を見越して建てられているのかなっていうのが、今回実態としてできてなかったのでは。

その当時の技術が80年もつものとして造られたものじゃないのではないかなというのが1

点と、国がそういうふうに言っているけれども、実態に即してないので、現在のこの施設を80年もたせるのは無理ですってということで、先ほど委員長のほうからもありましたけれど、新築ってということがメニューとしては不可能というものなのか、補助金を使えるかどうかというのがあるのかを知りたいです。

佐藤正己教育総務課長

最初に建ったときは、80年とかっていう考えはなかったと思っております。

なので先ほど説明しましたが、診断をなさいっていうのはそこなんです。

使えるかどうか、大規模改造に耐えられるかどうか、そこでできるのであれば、国のメニューに沿った大規模改造、長寿命化事業を行って、次は20年後に部分的補修事業に移れるっていう前段として、必ず診断をなさいってなってます。

その診断を必ず行うことで、さっき言われたように80年未満でも耐震満たしませんから難しいですよとかいったら、建て替えとかそういう形にはなってくるのかなと思っております。

牧瀬昭子委員

ありがとうございます。

診断が一番の要になるというか、分かれ道ってことですな。

だから今回の鳥栖中学校にしても、これまでの状況で見たときに厳しいかもしれないという判断を下される可能性もあるということですか。

佐藤正己教育総務課長

そういうふうな診断結果が出る可能性もあり得ると思っております。

視察で見ていただけなかったんですけど、鳥栖中学校の特別教室棟の2階に上がっていただくと、かなり大きいひび割れが柱に2本バンと入ってたりするので、ちょっと厳しいなという思いがあります。

樋口伸一郎委員長

ちなみに診断はどなたがされるんですか。

城島直也教育総務課総務係長

検査に関しては、佐賀県内でこの長寿命化を実施した自治体が今はございませんが、近くの自治体でしたら福岡市、あと北九州市。

長寿命化のメニューが小中学校になりますので、県が公立高校しかないものですから、基本的に県はしませんので、福岡市、北九州市あたりが今実績があるということでありました。

ですので、そういった業者についても教えてもらおうとは思っておりますが、通常のいわゆる建設会社ではなくて、ほかの自治体でいくと、設計をしている会社にそこも委託をして、要はコンサル業務をしてもらって、それを踏まえた上で設計というようなことで設計会社に

委託をしているところもあります。

ただ、そこが市内の業者で実績があるかどうかというところも問題もございますので、福岡市の事案を参考にしながら、業者についても当たっていきたいとは思っております。

樋口伸一郎委員長

ありがとうございます。ほかにありませんか。

今までのお話を聞いていると、何とかせないかんっていう姿勢が非常に見えて心強いと思っております。

成富牧男委員

鳥栖市長も入る総合教育会議、そういうのでは、こういう施設、ハードの部分も議題の対象になるのかと、今までこういう学校施設のことについて何かお話があったことがあるのかどうか。

城島直也教育総務課総務係長

お答えいたします。

総合教育会議については、これまでの内容でいきますと、学校の運用面に関する議題ということで扱ってまいりましたので、私が知っている範囲でのこれまでの議題ですと、総合教育会議が開かれてからの議事の次第等を確認した中では、大規模改造のスケジュールですとか方針についての協議がされたことはございません。

成富牧男委員

そもそもの会議の性格が、そういうやつは扱わないっていうことですか。

佐藤正己教育総務課長

いや、学校に関する運営とか教育に関することですので、多岐にわたることを話せる会議だと私は思っておりますが、そういった意見も議題に上げたことがないということはありません。

成富牧男委員

今の答弁のとおりでしたら、そういう公式の場で議題にも上げて、どんどん押し込んでいくような、そういうのも必要かなと思いましたので。

樋口伸一郎委員長

委員会のほうでも所管事務のテーマに上げられて取り扱われているというのを添えてもらって大丈夫ですので、ぜひ要望してください。

ほかにありませんか。

西依義規委員

鳥栖中学校は議論ができて分かりました。

ただ、田代小学校と田代中学校に関しては、今のお答えだったら、我々は所管事務調査をしてどう返すのかっていうと、返す言葉がないんですよ。

子供たちから学校についてこういう要望がありましたけれど、2校とも事業費が多額になって無理ですということでしょう。それでいいんですか。

佐藤正己教育総務課長

田代小学校の体育館につきましては、冒頭に言いましたように、ガラリの位置を変えることができるかどうかとか、それいったのは建設課と話をしたいと思っています。

そこで、移すのがいいとか、移したとしても雨風の強さとかで降り込むということは実際にほかの学校でもあっていますので、完全な解決に至らない可能性はありますが、上から降ってくるようなことはなくなると思います。

それとあと、その機能を残したまま新たな何か方法があるのかっていうのも建設課のほうと協議をさせていただいて、作業をするために足場を組むということで費用がかかるということを行っていますので、雨が降った後に水たまりができて、そこでだんだん床の塗膜が剥がれて、最終的にそこがささくれになって子供がけがをするっていうのは避けなければならないと考えております。

そういった部分では、いつっていうのはまだ言えませんが、学校のほうからは何年も前から年に1回修繕箇所とか予算調書みたいな形で、必ず予算化してほしいというような提出をしている分では必ず上がってきておりますので、何らかの対応はしていきたいと。いつですとか、幾らですとかはまだ言えませんが、前向きに取り組んでいきたいとは考えております。

西依義規委員

分かるんですけど、学校が最初に上げたのは平成何年で、それが何年かかっていまだに解決できてないんですか。昨日、今日の話じゃないんでしょう。

佐藤課長は、いかにもこの間問題が出て、これから解決に向けてっておっしゃってますけど、これは前からあるんでしょう。何年かかってもずっとできなかったんじゃないですか、違うんですか。

佐藤正己教育総務課長

私がバスケットボールの指導をしていたのが、もう十何年前になりますが、そのときからそういった症状があったとは知っております。

その後、指導も離れましたし、いろんな部署も回って、去年来てまだこれがあるっていうのが分かりましたので、まだだったんだっていうのは、正直驚いたところでございます。

何らかの理由があって後回しになったのかなっていうのは、考えられると思います。

申し訳ございません。

牧瀬昭子委員

先ほどの件で、大規模改造があるときに体育館も要望が上がっていた、現場の先生たちの声があったということですが、それがその中に入らなかったっていうのが、今回この問題がずっとあり続けてる要因なのかなと思うんですけど、現場の声を反映させるためには、どのような仕組みが必要だとお考えですか。

佐藤正己教育総務課長

去年来て、田代小学校の大規模改造があつてるときに、体育館は？って聞きましたけれども何もなかったということで、何でなのか聞いたんですけど、そこにはお金も入ってなかったみたいで。

私が最初の設計のときに入らなかったんで分からないんですけども、大規模改造事業の設計とかの事前打合せで学校側からの要望を取り上げようとして、校舎の部分とか——今、大規模改造は基本的に校舎とか特別教室とかをやってますので、体育館をするときは、体育館の要望箇所を聞いて、それをなるべく反映できるようにっていうことをやっておりますが、田代小学校のときは、校舎の特別教室棟の改修ということで、学校からの要望がその部分で上がったかもしれませんが、校舎の部分なんでっていうことで切っている可能性はあるかというふうに判断はしております。

大規模改造は校舎だけっていう意識があつたのかなとは思っておりまして、私がここに来てまして、こういった学校から上がってきた分は全部予算要求をするような形にはして、私がそれをやってる分、係員がきつくなってるっていうのはあるんですけども、やっぱり児童生徒のためには施設改修が必要だというところがありますので、予算化して修繕対応できるのはなるべくしていきたいとは考えております。

牧瀬昭子委員

建設されたときから構造上は変わってなくて、同じような問題がずっとあっていて、現場からも話はずっとあっているけれども、20年前からこの状態であるというのは使ってる方たちからしてもそういうお話があるということで課長のほうからもお話ありましたけど、そういう状況がありながらも学校だけですっていうふうに切られてしまうというのは、どこに問題があるのかなと思って。

年数的なものでこれ以上たたないとこの範疇に入りませんか、それとも財政的な問題で、財政課にこれはもうここまでですって言って切られてしまうのか。

その辺りは何が理由だったんだろうと、そこが分からなかったんで、御存じであれば。

城島直也教育総務課総務係長

お答えいたします。

先ほど課長から申し上げましたように、推測という形になってしまうんですけれども、今回の体育館のこの問題が解消されていないというのが、大きく分けて2つ理由があるのかなと。

1点が、議員も言われた年数の部分で、建築年数から考えたときに田代小学校に関しては、体育館は比較的新しい状況でございましたので、年次計画で古いところからしていくというような方針をもともと立てておりましたから、そういったところから体育館は外れたのではないかというふうには推測しております。

もう一点の雨の降り込みに関しては、先ほど課長が申し上げたように、田代小学校の体育館が新しくなったときにいらっしゃった先生とかにも確認をした中でも、雨の降り込みは建築当時からあったと、雨が降ってるときは入ってきていたと。

ほかの学校の先生方にも、うちの小学校も雨がひどいときはたまに入ってくるということで、問題の認識の部分が構造上の問題というところがどうしてもございますのと、ほかの学校も同じように降り込んでいるという状況から、田代小学校の体育館だけを工事範囲に入れて改修をしなきゃいけないっていう認識が当時どこまであったのかなというところは、疑問に思うところではあります。

牧瀬昭子委員

学校施設としての役割というのが一番大きいとは思いますが、防災上の問題から言えば、雨が降って避難所として扱われることも大きな役割としてあると思うんです。

そこが築年数が浅かったとしても、構造上の問題であるというのは根本的な問題だと思うので、そこ自体をほかの学校も含めて、改めて検証する必要があるんじゃないかなと、見て思ったところでした。

佐藤正己教育総務課長

視察のときにも話しましたが、市立小学校の構造上の問題点は、2階部分にキャットウォークがないんです。

中学校は、バスケットのリングとかを出すために人が1人ないし2人通れるような通路みたいなところがあるんです。

そうすると窓が開けられたりするのでもいいんですけど、小学校はまっすぐ壁と窓っていう形になってますので、本来そういった造りであれば、窓を開けることで排煙とかができて、壁側につけておけば窓際とかにつけなくてもよかったのかなっていうふうに体育館を造り変えるときにはそういった構造にするっていうのは必要なのかなというふうに考えるところではあります。

私は、バスケットで大きな体育館であるとか高校とか中学校とか小学校とかいろんな会場

に行きますが、小学校の体育館って2階の部分にキャットウォークがないんです。

中学校になるとそういった通路があって、窓の開け閉めがしやすいっていう形で、高校も同じような造りになってます。

小学校にはないので、上のほうにバーンと大きく開けて排熱するような形が、よその市町の学校でも多いんですけど、町とかで社会体育の体育館と兼ねてるようなところだとそういう施設があるんですけど、学校単独で建ってるとなかなかそういうのはないなっていうのは私の経験ではそういうふうに感じます。

牧瀬昭子委員

そのキャットウォークがあるなしに関して、バスケットのことでそういう構造が必要なのか小学校のほうがない理由というのがちょっと分からなくて。

佐藤正己教育総務課長

例えばバスケッだと壁側にボードをつけて張り出しをしなきゃいけないんですよ。

そうすると直接壁についていうのはなかなかないんです。

必ず壁みたいな張り出しを造って、そこに設置って形になってますので、そうするとやっぱりその張り出しを造ったときに通路を造ると窓を開けられると思うんです。

直接壁につけると壁自体がもたなくなることとかもありますので、必ず壁から張り出しがあって、そこに器具をつけて外に出していく形になります。

そうすると張り出しの部分を造ると通路が出来ますので、その部分を通路という形にしているのではないかなとは思っております。

鳥栖北小学校は観覧席みたいなのがありますよね。あそこは壁にバスケットリングがついてますが、ほかの学校はやっぱり昔からの形になってて、作り変えをしてませんので、大規模改造のときは同じような構造で造っていきます。

だから今回の旭小学校も一応完成はしましたが、同じような構造の中でしか設計がされていないっていうところで構造が終わっています。

旭小学校の場合は、南北にガラリがあるかと思いますが、そういう構造になってます。

樋口伸一郎委員長

補足ですが、排煙の窓っていうのは、熱であったり空調であったりなんです。

通路があるところっていうのは、今おっしゃったように中高では体が成長するんで、上からやらなきゃいけないスポーツの張り出しのゴールとかでそこに通路を造ってあるんで、それと兼ね合わせてそこに窓を造ってるってだけなんです。

小学校に要らないのは、子供たちが小さくて据付け型の機能にできるので、上が必要ないんです。わざわざ人が登ってしなくていい作業ばっかりなので。

ただ、鳥栖小学校とかは新しく建ってるので、小学校の体育館だけどつけとこうって感じでついてると思います。

だから排煙窓さえつけていれば、防災であつたり、空調であつたりは構造上の機能的には働くんで、あとスポーツの機能でそれをつけといたほうがよからうというのは、運動競技の基準で中高では必要になるんで。

なので、小学校は要らないからついてないということです。

西依義規委員

上の件は分かったんですけど、下はどれぐらい傷んで、腐ってるかもしれないじゃないですか。そういう診断とか、その辺を調査する予定はあるんですか。

佐藤正己教育総務課長

下の部分については、学校からも要望が上がっておりますし、床の部分にささくれがあつたら駄目なので、例えば一部張り替えが可能であれば張り替えをすとか、はぐってみて何かあればまた変わりますが、そこら辺は必ず診断をした上で張り替えだけで済むのか、中を見なければいけないのかは検討させていただきたいと思います。

西依義規委員

ほかの小学校もしてて、年に何回かなら下は1回きれいにしてやって、雨が降ったときは小まめにブルーシートなりをかけたり、拭いてくださいっていうふうなのでも別にいいと思うんです。何億円もかけて足場を造ってとは我々も言ってないんです。

この状態を改善できる方法を一緒に協議できればと思ってまので、ぜひ何かしてください。

一番駄目なのは放置。何もしないで10年。違う担当が来て、また変わって、前の担当者がやったので分かりません、また変わってっていうのが一番駄目やけん。

何か調査なり調べるなりしていただくと、我々も調査したかいがあつたと思いますので、ぜひ何かしてください。お願いします。

樋口伸一郎委員長

ちょうどまとまったんで、最後の質問にします。

中川原豊志委員

佐藤課長には今一生懸命取り組んでもらってますんで、よろしく願いしておきます。

別件で、ちょっとだけ気になったんですが、田代中学校を出るときに、田代中学校の通用口が変更になっていて、保護者の方とかが校門の前の縁石に乗り上げたり、朝夕もしくは雨とかが降ったときに保護者の送迎があつて、通用口が狭いんでかなり渋滞するとかいうお話もあつたんで、この辺は学校教育課と道路所管課に校門の前の縁石が本当に必要かどうかとか、事故もあつたりしてるっていう話も聞いたんで、その辺も一緒に検討できんかなと。

校門の前が縁石になってたら危ないよね、間違ってどんどん行く人もいるかもしれんって話も出てましたんで。

佐藤正己教育総務課長

その後別件で行って、どこの縁石ですかって確認をしたら、道路から入って歩道を過ぎてすぐのところに縁石があって、そこに当たってるってということなので、校舎敷地内です。

道路はうまく入って来られるみたいで、入ったときに駐輪場みたいなところがあって、そこにれんがが五、六枚あるところにぶつかられて乗り上げられてるってことでした。

そこは何か改善できればと、外の入り口のところと多いのはどちらですかって聞いたら、中のほうですって言われたんで、そこかなと思っております。

中川原豊志委員

見た感じ正門が以前は通用口だったと思うんですが、完全に正門の前をふさいでますよね。

分からない人は正門が入口と思ってドーンと行ったり——僕なんかも知らんやったら行きかねんなど。

だから、縁石を夜でもきれいに見えるようにするとか、教育総務課の担当じゃないだろうから、建設課や維持管理課とかと協議してもらって、何らかの対策をしてもらってもいいのかなと思ったんで。

樋口伸一郎委員長

これは何らかの話が出たということは、ぜひお伝えいただければと思います。

西依義規委員

もう一点いい？一方通行って言ってあったのは何か対応されますか。

穴が途中に空いてるし、出口の門が2つドーンと石があったんで、学校側は何とかここをうまく一方通行にできるようになればいいなっておっしゃってたんで、それに対する教育総務課の回答みたいなのは何か。こういうことで難しいとか、これが出来たら考えますとか、回答はどんなふうにされてますか。

佐藤正己教育総務課長

敷地内のメーターボックスとか、マンホールが浮き上がった部分は改善しなきゃいけないと思います。

そういう改善をして、曲がるところの1枚が切れるようであるならそういった対応をして。

私たちとしては、下のほうは子供のけがにもつながりますし、学校の先生が通られる通路でもありますので、なるべく早急に対応したほうがいいと。

市内どこの小中学校でも、前のほうは舗装してたけど、舗装が途切れた部分っていうのは、先生方であるとか特別支援の先生、支援員さんが増えたりとかでどうしても車が多くなった

緒方委員のほうが所用のため11時半で退席をするという事前通告を頂いてますので御了承ください。

それでは、1番の議題以外についての御説明をお願いいたします。

佐藤正己教育総務課長

田代小学校、田代中学校、鳥栖中学校以外の市立小中学校の校舎修繕等の対応状況につきましては、お手元に資料を上げております。

令和5年度学校不良箇所点検提出件数——不具合があった場合とかに、学校のほうから写真付きでどういう状況で雨漏りしてますとか、壁が剥離しましたとかってというようなシートをつくっていただいて点検に行ったりしているところがございます。

令和5年度1月末現在で、件数は36件でございます。

学校ごとの件数及び対応状況につきましては、ここに書いておりますとおり、鳥栖小学校は5件。

電話機の故障、これは復旧済みでございます。

壁紙の剥がれ、蛍光灯、排水等があります。

対応としては、職員が現地に赴いて用務員や学校の先生たちと確認をしながら、用務員対応ができる分についてはしてもらって、経過観察をする場合と修繕対応とか工事対応している部分がございます。

鳥栖北小学校につきましては、8件。

蛍光灯、雨漏り、空調、放送設備、外構、屋内運動場というところでありまして、蛍光灯につきましては、修繕し復旧済みであったり、雨漏りについては、令和6年度の予算計上をしているところがございます。

空調につきましては、エアコンの関係ですのですぐ修繕を行っております。

放送設備、外構についても修繕を行っております。

屋内運動場のギャラリー手すりぐらつきにつきましては、業者に確認をしていただきまして、現在のところ緊急性はないということですが、負荷がかかって落ちないとも限りませんので、見積り依頼をしています。

少し揺らぐくらいで、すぐに落ちるということはないということでしたけど、見積りを依頼したところがございます。

田代小学校につきましては、大規模改造工事が終わったばかりですので、第2グラウンドのスピーカーの不良で音が鳴らないということで修繕をしています。

弥生が丘小学校からは提出はあっておりません。

若葉小からは4件。

これも、復旧済みだったり、修繕したり、用務員で対応してございます。

基里小学校からは水漏れほか1件が出ているところでございまして、これは用務員のほうで対応をお願いしているものでございます。

次のページをお願いいたします。

麓小学校は6件。

遊具、扉、水漏れ、空調、外構とありまして、修繕を行っているところでございます。

旭小学校の屋内運動場の軒下屋根に穴が空いている、石膏ボードの外れは大規模改造工事のときに一緒に行っております。

その他の管理棟階段のへり外れは修繕を行っております。

排水は復旧済み、天井は来年度大規模改造工事に入りますので、経過を待ってそのときにするというところでおります。

鳥栖中学校が、外構、空調、屋内運動場の防球ネットが完全に閉じないというのは修繕しております。

田代中学校は不良箇所の申告はありません。

基里中学校も、あっております。

鳥栖西中学校は、蛍光灯、屋内運動場、外構というところであっております、修繕を行ったり、見積り依頼で費用が判明次第対応するっていうところで考えているところでございます。

学校から出た分につきましては、そのシートを基に現場確認に行って、技術的に電気関係とかの修繕が必要な部分については、業者依頼をして修繕をしたり、規模が大きくなるようであれば予算化をして、現計予算で対応ができれば現計予算で対応したりとかで、なるべく生徒とか教職員の学校生活に影響がないような形で対応をしているところでございます。

以上でございます。

樋口伸一郎委員長

ありがとうございました。

御説明をいただきましたので、御質問のある方、挙手にてお願いをいたします。

中川原豊志委員

鳥栖中学校の外構の敷地内未舗装部分の穴っていうのは、先般視察に行かせていただいたときに、駐車場の周りに2メートルか3メートルか樹木を伐採した後のその件ですか。

そこは用務員さんのほうで対応できるという話があったんで、それは、用務員の補修対応で大体終わる状況ですか。

城島直也教育総務課総務係長

鳥栖中学校の外構につきましては、鳥栖中学校の北側の、議員がとめていただいた駐車場の奥の部分です。

卓球場と体育館に至る部分に未舗装の部分が続いておりまして、どうしても先生方が奥のほうまでとめないと車の駐車スペースが足りないものですから、それによって穴が空いてしまっているという状況です。

用務員のほうに定期的に市の補修材とクラッシュランを渡して対応をしていただいている部分がこの記載させていただいたものになります。

先日の視察のときにも、私のほうに同じように現状を見てくれと御要望がありましたので、こちらについても同じようにクラッシュラン等を渡して用務員の対応をお願いしようと思っ
てるところです。以上です。

中川原豊志委員

早急な対応ありがとうございます。

あともう一点、旭小学校の件ですが、ここに運動場と校舎の出入口の要望が入ってないんですが、大雨が降ったときに保護者の方にお迎えを依頼したときに、車を運動場にとめてくださいと。そして校舎までお迎えに行ってくださいっていうときに、校舎に入る手前のところがかかなり幅広い状況で冠水していて校舎まで行けないんで、学校の先生が、土のうとか足場を持ってきて通路を造っているという話も前聞いたことあるんですが、その辺の対応は今回入ってないんですが、何か確認されてますか。

城島直也教育総務課総務係長

中川原議員がおっしゃっていただいたのは、恐らくグラウンドにとめて校舎に入ってくる
ときの土のう部分が、確かにグラウンドと昇降口の部分に雨が溜まるので、ずっと土のうを
積んでおります。

旭小学校は全般的に、今回見ていただいた体育館ですとか、改修をさせていただいた体育
館の周りですとか、そういったところも側溝が全部埋まっている状況で、水が流れていかな
いということで学校から要望は出ております。

ただこれが、グラウンドの全体的な勾配が取れてないとか、側溝が詰まっているというところの問題になりますので、大規模改造のときに仮設校舎をまたグラウンドに立てる形になります。

もちろん養生というのも業者に指示をいたしますので、こういった校舎の大規模改造をしていく中で、グラウンド部分もしくは校舎周りの校舎と校舎の間の土の部分についても改善を一緒にしていきたいとは考えております。

中川原豊志委員

よろしくお願いします。

佐藤正己教育総務課長

補足ですが、市内の小中学校の運動場に先ほどちょっと触れましたけれども、年度当初の予算要求をするときに、学校のほうから雨とかで砂が流されて運動場のトラックのロープとかがむき出しになって、足に引っかかってけがをするという要望が上がっております。

それにつきまして、児童生徒が日頃から使ってることで土壌が固まってしまっていて排水できないということと、昨今の雨の降り方で表面を流れていって砂が流れている状況というのがあるとしております。

ですので、田代中学校の運動場のテニスコートに水たまりが出来るということで、令和6年度の当初予算で暗渠排水を入れるような工事をさせていただき予算を計上させていただいております。

城島が言いましたように、旭小学校の大規模改造工事のときにもそういった部分の排水とかを何かできないかというのは検討をするようにはしております。

野球のマウンドが流れてマウンドじゃないような状況になってるとかもどこの学校でもありますし、中学校でも小学校でもそういった要望がありますので、本来なら全部の学校のそういった調査をして、何が一番いいのか、勾配を取るのか、暗渠排水を入れるのかとか、そういう工事をするような形ができればとは思っております。

けれどそれを全部してしまいますと、今回田代中学校でも相当な費用がかかりますので、大規模改造のときに一緒についてというのが一番理想です。

仮設校舎を建てるときには運動場に建てて整地作業とかもしますので、そういうときに一緒に鳥栖市の大規模改造事業のメニューの中にそういうところまでしますっていうところを組み込んでいきたいとは考えております。

そうしないと環境改善にはなっていないと思ってますので、ある程度そういった気になってる部分、校舎だけでなくそういった外構の部分とかも入れていければと考えたところでございます。以上でございます。

樋口伸一郎委員長

ほかにありませんか。

西依義規委員

ここには36件上がってるけれど、先ほど中川原委員がおっしゃったような令和4年とか令和3年とか令和2年から解決できてない部分があると思うんですけど、毎年こういう表は同じようにつくっていらっしゃるんですか。どういうふうに整理をされてるんですか。

佐藤正己教育総務課長

今手元に持ってきてますが、各学校から予算化をしてほしい部分の施設とかを毎年出してもらっておりまして、例えば靴箱側の板のベニヤが剥がれてささくれ立ってるとかも現地を確認したら、やっぱりしたほうがいいと思うけれど、児童生徒の靴箱っていうのが、構造上、全部くくりつけてはまってしまってるので、それをするためには全部はつらなきゃいけないっていう形になってて、やっぱり大規模改造時にしかできないっていう結論になってます。

部分的な補修は用務員さんとかにお願いしてとかいう形を取っているところがございますが、さっき言われたように長年上がってきて、積み残しているというのは当然残っております。

何かできないかというところで検討しておりますが、校舎と一体化して造ってある施設については大変申し訳ないですけど、ちょっと待ってくださいっていう話をしています。

ある程度切り離しができる分については、令和5年度、6年度で予算化をできるように要求はしております。

ですが、ほかの業務との関係とか、教育総務課の中の事業で判断をして次年度送りとかがないわけではありません。以上でございます。

西依義規委員

もちろんいろんな課が同じように予算要求して採択等々をされてるんで、ここの課だけの話じゃないんでしょうけど。

学校側としては、去年やおととしに出したやつはこっちで把握してるんで出さなくていいですよって言われても、道路の要望も一緒ですよ、出さなくなったら熱意が伝わらんみたいな。

学校側も最近黙ってるしこっちもやめとこうみたいになったらおかしいと思うんで、手間は大変でしょうけど、そこはしっかりもう一回上げてやって羅列しないと。

これは令和2年からの要望ですみたいに我々は見らんと、ここには36件しかなくて、さっき中川原議員がおっしゃったやつも抜けてるやんみたいなのがいっぱいあるけど、そちらは把握されてるんで。

まとめ方によるのか、それとも我々に見せにくいのか分からないですけど。

城島さんの仕事を増やしてはいかんけど、整理をするのがそんなに大変じゃなければ3年分なり5年分をこの紙でもいいし、一覧表にして見せていただくと、そこで色々は言いませるので、ぜひ確認の意味でも見たいなという気がします。

樋口伸一郎委員長

それに対する資料の一部請求というか要望が出てますが。

佐藤正己教育総務課長

私もそういった後押しをいただき大変ありがたく思っておりますので、先ほども言いましたように、ある程度大きな部分、これは財政課にも知っておいてもらいたいという部分については、令和6年度の予算要求として説明はちゃんとさせていただきますが、他の業務で優先する部分とかがあったので次年度以降に先送りした部分もあります。

若葉小学校のなかよし会にある築山のタイヤが雨で露出して、タイヤがむき出しになって、全然遊べないように立入禁止になってるところもあります。

それとか、鳥栖中学校のテニスコート等のロープがめくれて子供が引っかかってけがをするとか、ソフトテニスの球が北側にある家の畑に入ったらもうテニスボールを返してもらえないとか、そういうようなこともあっておりますので、そういった部分については、予算要求をしてこういう現状なんですっていうのは説明をしています。

ですので、令和6年度はつかなかったんですが、令和7年度は必ずつけていただくように。

テニスコートも田代中学校でしたような調査や積算を基里中学校も同様にテニスコートに水たまりがあって、水が何日もはけないとかがありますので、今まで何年も放置している状況ですので、何とかやっていきたいと考えています。

西依義規委員

努力はもう認めますんで、我々も後押しするためにそういったものを頂きたいのと、田代中学校のテニスコートも10年前、20年前からずっと言ってきて、20年かかってやっと予算がついたんですよ。

学校は諦めてる部分もあるんで、お二人がしっかり頑張っていらっしゃるんで、決して無駄じゃないというところを先生たちに分かってもらうのも大事ななと思ったんで。

そういう資料で、ここはこういう理由で予算化をしたとかもいいんでしょうけど、解決した解決しなかったぐらいの表は見れたらいいなと思ったんで言いました。

佐藤正己教育総務課長

そうしましたら、令和6年度に上がっている部分の中で、まだ積み残しとして残ってる分とかの資料という形で出させていただいてもよろしいでしょうか。

樋口伸一郎委員長

わざわざこの委員会のために日数をかけてつくっていただく必要はないかと思うんですけど、そのお手持ちの資料を、共有することが可能な部分を可能な範囲で共有できればと思います。

佐藤正己教育総務課長

各学校から、こういうペーパー1枚で一覧表というのが出て来ます。そのあとに各箇所の写真付きの資料が出て来ますので、この一覧表でよければ。

樋口伸一郎委員長

よろしく願います。写しで大丈夫です。

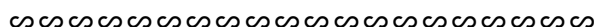
取扱いで補足等があつて、例えば一般質問等では活用しないでくださいとか、共有することに対して必要な情報等は添えてもらつていいので、よかったら共有していただければと思います。

一般質問というのは今例えで言っただけなんで、委員の皆さんには解釈の違いを起こさないで欲しいんですけど、条件等があればということです。

むしろ一般質問等で上げていただきたい、これは一般質問で上げてもらったほうが助かる
 っていうようなことあったら、逆に言ってもらってもいいです。

暫時休憩します。

午前11時35分休憩



午前11時37分開会

樋口伸一郎委員長

再開します。

先ほど資料共有の部分でお願いをさせていただきました、例えを出したのはちょっと悪かったんですが、こちらとしてはあくまでも有意義に共有をさせていただいて、協議をしていきたいという思いですので、御理解いただければと思います。

ほかに御質問等あればどうぞ。

成富牧男委員

幾つか端的に聞きたいんですが、シートの提出は予算前っていうことですね。

それから、用務員補修対応とかいうのが幾つかありますが、用務員が配置されてるところとされてないところがあるんですか。

佐藤正己教育総務課長

用務員については、各学校1名配置をしてありまして、今までは1人の用務員が自分の学校の剪定からちょっとした簡単な補修とかをしてたんですけども、今年度から用務員さん同士で話し合いをされまして、こういう作業をするけれども自分は不得手なのでお手伝いしてもらえませんか、学校から依頼をして学校の許可を取って、電気を扱えますよってい

う用務員さんが来て手伝うっていうふうなシステムを用務員さん同士の話合いの下、統括事務長である若葉小学校の事務長が話をまとめられましたので、うちのほうでその分を了承しました。

そういった制度が出来て、結構活用して、特に夏場の樹木の草刈りとかそういうのは1人でするんじゃないくて、3人、4人でするような形で、なるべく協力体制を取っていただくようなシステムが出来ましたので、任せるってわけではないんですけれども、本当に簡単な材料費ぐらいで、そういった資格を持ってる方にさせていただいているところでございます。

成富牧男委員

用務員さんが全部配置されて、しかも今のように協力してできる体制が出来たことは非常にいいことだと思いますが、この用務員さんの身分はどうなんですか。

会計年度とかいろいろあると思うけど。

佐藤正己教育総務課長

会計年度任用職員でございます。

成富牧男委員

全員？

佐藤正己教育総務課長

市の職員はまだ2名おりまして、退職者の補充が……

成富牧男委員

市の職員って、全員市の職員やろう。

佐藤正己教育総務課長

すみません、正規職員が小学校に1名で中学校に1名おります。

あと残りの10人が会計年度任用職員という形になっています。

成富牧男委員

さっきからずっとお金の話が出てますよね。

それで改めて、教育委員会と市長部局の予算編成の流れに違うところがあるのか同じなのか、そこをこの際改めて。

佐藤正己教育総務課長

予算要求につきましては、市長部局と同じような予算要求をしていきます。

教育部の予算という形で出ますので、同じように予算要求させていただいて、ヒアリングを受けて査定を受けて復活とかをしながら、同じようなやり方をして対応させていただいております。

成富牧男委員

部としてというのは分かったけど、例えば、教育委員会全体の幾つかの部署から出てくるよね。

それは、教育長も交えたところで事前にこれは落とそうとか上げようとか話しをするんですか。

佐藤正己教育総務課長

まず、課で予算をつくりまして、こういった要求をしたいという形で部長と話をして、その後教育長にこういった内容の予算を要求しますという形です。

そこで、これはやめたらいいんじゃないとかは一切なくて、私たちが要望して出す形になっています。

成富牧男委員

今の佐藤課長の姿勢だったらいいかもしれんけど、これはやめとこうとかの自主規制というか……、課から上がってきたやつについては、よほどおかしいやつじゃない限りはまずは全部財政課に上げるという理解でいいですか。

佐藤正己教育総務課長

私以前は分からないんですが、こういうのが何年も残ってるっていうことは、自主規制じゃないですけど、何か判断があったのではないかと考えております。

先ほども言いましたように、どうしても構造上簡単にできない部分とかっていうのもありますので、それは残さざるを得ませんが、単体でできると判断できた場合について予算要求できるっていう判断ができればしたほうがいいのではないかと私は考えております。

成富牧男委員

上げてますっていうことね。分かりました。

樋口伸一郎委員長

ほかにあればどうぞ。

西依義規委員

学校設備の話ですが、ここ数年ＩＣＴを入れたじゃないですか。

今どうやってしてるか分からんけど、ポケットＷｉ－Ｆｉを各フロアに持っていったりなのかな。

大規模改修でなら全館そういった設備をハードで入れたほうがいいと思うんですが、大規模改修時にはＩＣＴもグレードアップしてるんですか。

城島直也教育総務課総務係長

お答えいたします。

大規模改造工事につきましては、ＧＩＧＡスクールでタブレットを入れた後は、田代小学

今のICT関係の設備関係で言いますと、全てのアクセスポイントを各教室に1個設置をしまして、GIGAスクール用の専用回線を引くという形で対応しております。

ただ、機械に関しては、G I G Aスクールが入ってまだ間もない状況でございましたので、今の機械は撤去されて取付けという形で対応をさせていただいております。

GIGAスクールを入れたときに、全校そういうハードシステムは整ってるというか、そういうことでいいんですか。

城島直也教育総務課総務係長

G I G Aスクール対応をさせさせていただいたときに、12校全て同じスペックのアクセスポイント等を設置させていただいている状況でございます。

今回ここで言っていることなのかどうか分からないので、まず確認したいんですが、

暫時休憩します。

樋口伸一郎委員長

再開します。

②の鳥栖北小学校の雨漏りの件です。

令和6年度予算ということで計上していただいているんですが、このことについて教えてください。

樋口伸一郎委員長

詳細説明をくださいということだと思いますので、可能な範囲でお願いします。

城島直也教育総務課総務係長

鳥栖北小学校の雨漏りにつきましては、管理普通教室棟の6年生の教室のところから雨が漏っているということです。

昨年業者に確認をしていただいたところ、鳥栖北小学校の普通教室の屋根が瓦屋根で構築されておりまして、その瓦屋根が劣化によって一部割れているところから水が落ちているというような結果でございましたので、こちらについては、割れている部分を全て回収して、同じような形状のものでもう一回きれいにし直すというようなことで今予定をしているところでございます。

牧瀬昭子委員

これまで鳥栖中学校とかの大規模改造をやったけれども、雨漏り問題が浮上してくるっていうことが——今回その瓦のところを全部取り換えることによって、ほかのところに波及しないためにされるのかなと思うんですけど。

全体をする前にこれをやる必要があるっていう判断で、ここをされるということでいいんですか。

佐藤正己教育総務課長

ここって場所の特定ができてるので、そこをすることでほかに影響しないようにっていうことで対応しているところでございます。

樋口伸一郎委員長

ほかにあればどうぞ。

〔発言する者なし〕

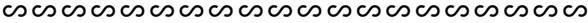
それでは、質疑を終わります。

以上で本日の日程は終了いたしました。所管事務調査は今回で終わりでもありませんので、次は3月定例会が入りますが、その補正あるいは当初の議案審査をまた行って、それも含めてまた委員間で協議を行って4月以降で予定を立てて打診をさせていただきたいというふうに思いますので、また機会がある際は、ぜひ御協力をよろしくお願い申し上げます。

ほかに皆さんからありませんか。

〔発言する者なし〕

よろしいですね。



樋口伸一郎委員長

それでは少し長くなりましたが、これもちまして本日の文教厚生常任委員会を閉会いたします。

午前11時51分閉会

鳥栖市議会委員会条例第29条の規定によりここに押印する。

鳥栖市議会文教厚生常任委員長 樋口 伸一郎

